

研究機関：広島大学

研究課題名 うつ病・躁うつ病・難治性うつ病の診断・治療法の創出のための脳機能画像研究

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科 教授 岡本 泰昌

対象者

2009年8月から2019年5月の間に、広島大学病院精神科で研究に参加された患者および健常ボランティア。

意義・目的

精神医学分野の研究に真の飛躍をもたらすためには、研究リソースを今まで以上に充実させ、画一的に品質管理し、複数の研究機関で相互運用することが重要との認識が広まりつつあります。さらには、広く研究者が利用できるような、自由閲覧可能なデータベースの構築が、精神医学分野における研究の創出・推進をもたらす可能性が非常に高いと考えております。

方法

本研究は、過去に研究用に撮像し匿名化をされた MRI データおよび研究参加当時の質問紙・行

動課題データを、完全に個人を識別できないようにした上で、自由に閲覧可能なデータリソースとして、国際電気通信基礎技術研究所によって管理・運営されるデータベースに対して提供いたします。

共同研究機関